

## ○令和6年度 第1回湖陵地域学校運営ブロック協議会報告

令和6年10月23日(水)、湖陵小学校において、今年度第1回目の湖陵地域学校運営ブロック協議会を開催いたしました。委員の皆様は次のとおりです。

### 【湖陵中学校地域学校運営理事会】

(会長) 川上 清登 様  
三原 洋子 様  
真玉 玲子 校長

### 【湖陵幼稚園運営協議会】

園山 哲男 様  
正木 桂二 園長

### 【湖陵小学校地域学校運営理事会】

石飛 達也 様  
本田 裕子 様… 当日はご都合がつかず欠席  
落合 克彦 校長

### 【ハマナス保育園】

水師満理子 園長

【事務局】 福谷和彦 馬庭志津子

当日は、会の冒頭に川上会長から、湖陵地域は保幼小中が密に連携を図り、落ち着いて学習や生活に取り組んでいる。そんな園や学校に対して、地域として何が出来るかを皆さんと情報共有を図る中で考えていきたいと挨拶がありました。

その後、各園・学校の1学期の様子についての報告やブロック協議会に関わる市の事業についての説明を確認した上で、活発な意見交換がなされました。その概要についてご報告いたします。

## 【各園・学校の様子から】

### 〈ハマナス保育園〉

- ・子ども主体で遊びが展開できる環境の工夫や、園児も保育者も活動を楽しむことを大切にしている。
- ・運動会では、チームワークや話し合いを重視して取り組んだ。
- ・夏は熱中症対策に力を入れた。(外遊びの時間制限、プールでの水遊び、かき氷作り、水分補給の仕方など)
- ・今後、少子化が進むと園児数減少の心配がある。

### 〈湖陵幼稚園〉

- ・令和5年度は23名いた園児数が、令和6年度は10名になった。
- ・園児同士はとても仲が良い。
- ・園児数の減少は課題である。愛育会費の減少も課題である。
- ・活動の継続に向けて、コミュニティセンターにも相談に乗っていただいている。
- ・運動会では、過程を大切に取り組み、話し合いを重視した。

### 〈湖陵小学校〉

- ・令和6年度の児童数は264名。児童は全体的に落ち着いた学校生活を送っている。
- ・1学期の6年陸上大会・修学旅行(広島)、5年宿泊研修(江津)、2学期の体育会、5年音楽会、学習発表会など、大きな行事を中心に児童は前向きに取り組み、一つにまとまっている。
- ・様々な支援を必要とする児童に対しては、個別に最適な支援を心がけている。

### 〈湖陵中学校〉

- ・令和6年度の生徒数は128名。1年2クラス、2・3年1クラス、特別支援学級2クラス。
- ・学級増に伴い、職員数は1名増えた。
- ・落ち着きのある学校生活を送り、話を聞く姿勢もできている。
- ・学力調査の結果は、市や全国の平均を上回っている学年・教科が多かった。
- ・体育祭では、幼稚園・保育園児と交流をした。小学校6年児童にも見学してもらった。
- ・今後、小学校6年児童を対象に、文化祭見学や出前授業(数学)を実施する予定。
- ・高校入試制度が変更されるため、対象となる生徒に対して準備をしている。(10月初めに3者面談済み)

## 【質疑応答・意見交換】

- ・湖陵中学校以外の中学校に進学を予定している児童の状況は?  
⇒数名希望している児童はいる。確定している児童はまだ少ない。今後の動向に注目していきたい。  
学級数が1クラスか2クラスによって、教員の加配数が大きく変わってくる。湖陵中学校の魅力の発信を!
- ・令和7年度の運動会・体育会・体育祭の期日は?(熱中症対策との関連)  
⇒小学校も中学校も熱中症対策や前後の行事を考慮して、9月下旬を予定している。幼稚園と保育園は例年どおり10月の上旬から中旬を予定。(詳細については、今後の日程調整により決定)

【裏面あり】



- ・不登校や不適応の児童・生徒の状況は？ 【裏面あり】  
⇒校内での個別対応（別室・リモート対応）や外部の教育支援センターとの連携を通して、少しずつ改善傾向が見られる児童・生徒もいる。対策委員会や支援会議を計画的・継続的に実施して、組織的に対応している。進路保障の観点からも、今後も適切に丁寧な対応をしていきたい。
- ・インターネットのゲームや SNS 等への依存の実態は？  
⇒悪影響が心配な児童・生徒もいる。（生活リズムの乱れ、集中力・思考力の欠如、ネット内での誹謗中傷・暴言、見知らぬ人とのつながり、課金問題など）学校・家庭・地域で連携して、本気で、心に響く指導をしていく必要がある。
- ・「湖陵ちよっこし応援隊」の皆さんに、湖陵地域の草刈りをボランティアでしていただいている。地域の力として助かっており、大変ありがたい。

## ○各園・学校のふるさと教育の取組の中から

### ハマナス保育園

今年は猛暑が続き、柿がぼたぼたと落ちた夏。「今年は柿がないね」と諦めかけていたところ、地域の方から沢山の渋柿をいただき、干し柿作りをすることが出来ました。初めは難しかった皮むきも経験を重ねるごとに「もう剥けたよ」「5個目だよ」と嬉しそうな声が聞こえてきました。今年は祇園坊柿もいただき、輪切りにすると、「お星さまみたい」「お花みたい」とイメージを膨らませていました。干し柿やドライフルーツは散歩に持って出かけ、食べたいと思います。幼少期にいろいろな経験ができるのは、地域の方に支えられているからこそと思います。



### 湖陵幼稚園

#### ～地域のひとと一緒に～

本園では、本年度から稲作体験をさせていただくことになりました。社会福祉協議会、コミセン、田んぼの管理をしておられる片伊勢さんをはじめ、たくさん地域の方の温かいご支援をいただき、田植え、稲刈り、餅つき体験を実現することができました。

地域の方々と一緒に苗を植えたり、鎌やハサミで稲刈りをしたり、餅つきをしたりしたことは、忘れられない思い出としていつまでも心に残っていくと思います。

この他にも、タケノコ掘り、バラ園見学、シジミ採り、お祭り見学など、多くのことを湖陵の町で体験させていただいています。



### 湖陵小学校

今年度も4年生は、総合的な学習の時間の取組で「水辺の環境学習」を行いました。

6月にはゴビウスの学芸員の方、神西湖漁協の方に来ていただき、コミセンで学習会を開いていただきました。神西湖の環境や生き物について、スライドや実験を交えて説明を受けたり、神西湖畔に出かけてシジミ漁の実演を見せていただいたりしました。そして、コミセンのスタッフさんが作られたクイズを楽しみ、「食育こりょう」の皆さんに作っていただいたシジミ汁をいただき、まさに五感を使ってふるさと神西湖に関わる「ひと・もの・こと」の良さを学びました。今後の学習を深めるための意欲をもつことができました。



### 湖陵中学校

1年生は光風園の利用者さんと花の苗植え活動を行いました。交流を通して、地域に関心を持ち、地域や社会に貢献できることは何かを考える機会になりました。咲いた花は春に届けます。

2年生は関西方面への修学旅行中に「出雲子ども観光大使」として観光客に出雲のよさをPRしました。事前にふるさと湖陵・出雲のよさや課題を学習し、当日は湖陵・出雲と京都との違いを感じ、改めてふるさとの素晴らしさを感じる機会になりました。

3年生は湖陵町内及び近隣の事業所で職場体験学習を行いました。体験では、これまでふるさと学習で培った、課題を見つけ、学び、考え、主体的に行動しようとする態度や力を発揮することができました。今後、自らの進路を考える上で貴重な機会になりました。

